



CITY WATCHING

クローズアップ CLOSE UP

夏を彩る大胡の祭り

7月29日に大胡城・牧野氏まつり、同日と30日に大胡祇園まつりを開催しました。牧野氏まつりでは、武者行列や鉄砲演武など、迫力のある歴史絵巻を展開。祇園まつりでは、山車の巡行や激しく動き回る暴れ獅子の勇姿が訪れた人を魅了していました。



若きパティシエ技競う

小屋原町の東日本製菓技術専門学校で8月1日にパティシエ甲子園を開催。一次審査を通過した県内の高校生、12チーム36人が創作ケーキ作りに挑みました。今年のテーマは「アイデアきらりヘルシーケーキ」。厳正な審査の末、県立藤岡北高が頂点に輝きました。



近代詩の金字塔を顕彰

前橋文学館では、10月9日(月)まで萩原朔太郎の詩集『月に吠える』100年記念展と、近代文学に発想を得たコミック『月に吠えらんねえ』展を開催中。7月29日には作家の夢枕獯さんが講演し、朔太郎の作品の特徴や自身への影響などについて語りました。

防災士で組織する、日本防災士会。飯塚さんは、県支部の設立に携わり10年以上活動を続けています。この会は、訓練へのアドバイスや講演、被災地支援などを行っている。「各地区で自主防災会などの集まりはあるのですが、実際に活動するのは難しいところが多いんです。だから、私たちがそういうところに行ってお手伝いをしています」

活動を大切にしていては自助と共助の取り組みだ。「自分の身を守るために自分でできること、そして自力で避難できない人たちを周りの人がどう手助けするか、これを重点的に伝えていきます」

地域の防災意識を掘り起こす



日本防災士会 県支部長
飯塚 宗夫さん・64歳
岩神町二丁目

いきいき
まえばし人

アーツ前橋の 舞台裏 vol.3

アーツ前橋の学芸員が美術館の舞台裏や自身のバックグラウンドなどを披露。第3回は吉田成志が調査での作家との交流についてお送りします。

アーツ前橋
027・230・1144

暑さで食欲が減退しがちなこの時期。皆さんはどのように体調管理をしていますか。私が担当した展覧会に、「加藤アキラ「孤高のブリコロール」展がありました。ブリコロールとは、有り合わせの道具・材料で物を作る人のこと。加藤さんの作品は、割り箸など、身の回りで廃棄されていく日用品や砂鉄のような自然素材を細工し、ダイナミックで美しい作品へと変えます。職人技ともいえるべき丁寧な手



仕事は日常生活にも表れています。この時期、そうめんなどを食べる機会も多いかと思いますが、加藤さんは毎年自家栽培のクルマミとゴマをすり込んだオリジナルレシピのごまだれを作ります。私が加藤さんと出会い、作品調査を始めた4年前から、毎年ごまだれを分けてもらってそうめんを食べています。これが本当においしい。防腐剤などは使用なので日持ちはしませんが、毎日食べても飽きません。さらっとした舌触りでしつこくなく、うま味とまろやかさが絶妙。御年79歳のバイタリティーあふれる作家が作るもの、健康に悪いはずがありません。これで夏の食欲不振を解消。体調管理の第一歩はまず食にあるようです。